



クモは巣（網）を作った後、最後はその巣をどうするの

クモは足場を作って網を張る

クモは、種類によって、網を張らないものもいます。網を張るクモは、網を張るとき、まず、風に糸を流し、どこかに引っかかった所で、それをもとに、外わくを張ります。次にいくつか縦糸を張り、中心部分から、足場糸でかんたんうずまきをつけていきます。その足場糸をたよりに、ねばねばのついた横糸を張っていきます。実際に使うクモの巣ができ上がったとき、オニグモやコガネグモなどは、足場糸を切ってしまう。

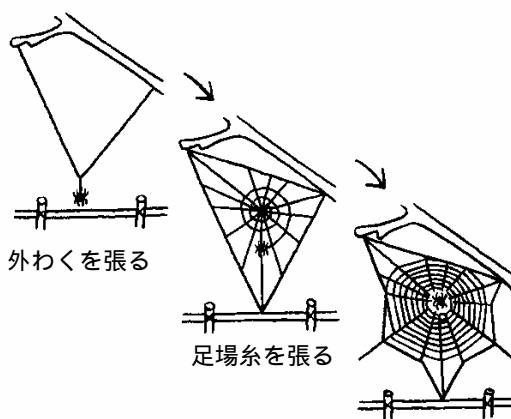
毎日、巣を張りかえ、後しまつするクモもいる

オニグモの仲間やトリノフダマシの仲間は、夕方に網を張り、次の日の朝、網を切っただけで、後かたづけをします。網を引っ張っているはしの糸を切り、前足でくるくる丸めて、最後は捨ててしまうのです。網を張るのに40～50分もかかったのが、はずすのには1～2分です。これらのクモは、毎日、網を新しく張りかえます。

イエオニグモは、次の日の夕方、前の網のおもな糸を残して、新しい網に張りかえます。

これら以外のクモは、ほとんど、同じ網を使える限り使い、後しまつはしないまま、別の網を張ります。

クモが網を張るのは、天候や気温、明るさなどで変化し、網を張る時刻もちがってきます。台風が近づいたときは、網を張りません。クモが年をとると、網の張りかえが少なくなるようです。（監修・中山 周平）



オニグモの網の張り方

